

質疑回答一覧

質問No.	テキストの頁	質疑内容	回答	担当講師
1	第1章 木造軸組工法の 構造規定	令44条 はり等の横架材 欠き込みによる耐力低減のお話 の際に、梁をふかして対策すると お話しされていたかと思いき ますが、具体的な方法をお教えくだ さい。 欠き込んだ後に材をつぎたすの か、下？側面に？欠き込んだ範囲 のみで良いのか？ 等々	・横架材引張側の欠き込みによって曲げ耐力 が非常に低減してしまうこととお話しさせて いただきました。その場合、大きな断面から欠き こんだ断面よりも、残した断面のみの部材の方 が曲げ耐力が高いという意味でお話しさせて いただきました。 例えば、h=240mmの引張側に30mm欠きこむよ りも、h=210mmの材を使用した方が曲げ耐力 は高いです。 もともとの断面せいが意匠上必要である場合 には、残した断面の部材に造作材として付加 する方法があります。 例えば、h=270mmで引張側に30mm欠きこむ必 要がある場合、構造材としてh=240mmを使用し て、造作材として30mm付加すなどです。	小原 先生
2	P64 固定荷重	外壁の算出において、窓は外壁と して計算するとありますが、例えば 意匠的に開放的なプランにするた め窓をたくさん設けた場合、実際 と構造計算との開きが大きいに 思います。P61に実際に使う材 料の重さを勘案して求めることと ありますが、具体的な計算例や参 考となる資料があればご教示下 さい。	原則的には実況よって固定荷重を計算する とよいので、窓や建具をたくさん設置するよ うなプランの場合には、その重量を固定荷重と することだと思います。窓や建具、それらの 枠などの重量についてはカタログやメーカー などにお問い合わせいただくといいと思 います。	小原 先生
3	第1章 木造軸組工法の 構造規定 パワーポイント P18 P26	正味断面係数を提言する 必要耐力 > 必要壁量？ 必要壁量の意味とは	・横架材の引張側に設けた欠き込みにより耐 力低下を生じます。正味断面係数で設計する のではなく、さらに低減する考え方が「木質構 造設計規準・同解説」に出ています。 ・地震力や風圧力に対して当該建物が必要な 耐力壁の量を必要壁量としています。	小原 先生
4	第2章 許容応力度 計算(1、2) パワーポイント P29 P32	地震用・たわみ 「垂直方向」合ってるのでは？	・横架材のたわみを計算する際に、地震力用 の積載荷重を用いて計算します。 ・風圧力について、「建築物の外壁面及び屋根 面に垂直方向に作用する力」としていますが、 垂直方向で合っていました。	小原 先生
5	第2章 許容応力度 計算(5、6) パワーポイント P3 P7	qu ⇒ qa 何故半回転数 立上がりの高さ 何故、許容応力度計算と呼ぶので しょう。水平力に対する検討は、そ の部材事に決められた許容耐力 を使っているのか呼び方に違和感 を感じました。	・「半回転」については、国土交通省告示第 1113号（平成13年）の表記と揃えました。 ・「地盤の許容応力度」については、国土交通 省告示第1113号（平成13年）の表記と揃え ました。	小原 先生

6	P103	筋かい高さの低減係数は46条壁量計算のみ(仕様規定)にも使えますか。	技術的には階高さが高い建物は壁量計算(使用規定)では適応対象外になります。個別に確認審査機関に御確認すると思います。	小原先生
---	------	------------------------------------	--	------